

鳥取県鳥取市



城下町鹿野の景観・魅力



鳥取市鹿野町の城下町地区では、約400年間の伝統を持つ「鹿野祭り」が似合う街をテーマに、平成6年度から街なみ環境整備事業に取り組み、8つの町内会ごとに「街づくり協定」を締結しました。

この「街づくり協定」では、「鹿野祭り」が似合う和風の街なみ景観形成に住民が主体的に取り組む事項を定め、この協定に基づき、住民は鹿野の風土、歴史や文化によって培われた建築仕様、意匠を取り入れながら、私的空間である住宅新築、改修などを行い、行政は道路・水路の美化、石行燈や常夜灯の設置、街なみ拠点施設やポケットパーク等の公的空間整備を行いました。

住民と行政が一体となった取組を始めて30年。沿道には、京風千本格子や、白壁に腰板といった古民家が立ち並び、甕った鹿野らしい風情ある景観に惹かれて多くの来訪者が街なみ散策を楽しんでいます。



鳥取城跡



世界ジオパークに認定される山陰海岸ジオパークのジオスポット・鳥取城跡(久松山)。大地が育んだ急峻な地形を持つ山は、戦国時代の山城を起源にした城跡です。防御性の高さや、山頂からの優れた眺めから、「日本(ひのもと)にかくれなき名山」と評され、織田信長は「名城」と評しました。

鳥取城は、歴史的に著名な羽柴(後の豊臣)秀吉の兵糧攻めの舞台になり、江戸時代には国内12番目の規模を誇った鳥取藩32万石の居城となりました。その歴史の長さから、中世から近世に至る多様な城の姿を残しています。それ故に、鳥取城跡とその周辺は、日本城郭の歴史を物語る「城郭の博物館」と呼ばれています。

鳥取城跡は久松山山系と一体となって景観を作り出している「久松山山系景観形成重点区域」の中にあります。

仁風閣



鳥取城跡の敷地内に位置する皇室ゆかりの洋館・国指定重要文化財 仁風閣。

擬宝珠橋



2018年9月30日、鳥取城大手橋「擬宝珠橋(ぎぼしぼし)」が約120年ぶりによみがえり、同年10月8日に渡り初めが行われました。擬宝珠橋は、鳥取城の大手橋として参勤交代の玄関になっていたほか、藩領の測量の起点にもなっていました。

湖山池ナチュラルガーデン



世界ジオパークに認定される山陰海岸ジオパークのジオスポット湖山池(こやまいけ)の湖畔にある湖山池ナチュラルガーデン「とっとり晴れやか庭園」からは、周辺の間々や池の島々・夕日など、心が和む魅力がもりだくさんです。

湖山池は「湖山池景観形成重点区域」の一部です。

